

HANDS ^{あかり} 通信・11

HANDSとは、Hanshin-Awaji Network for Disaster Survivorsの頭文字をとり
震災とそこから生まれた支え合う「こころ」を伝えひろげるため設立されました。

全国をむすぶ はるかのひまわり!!

連日の残暑、みなさんいかがお過ごしですか。

僕も事務局スタッフもあまりの蒸し暑さにぐったり・・・でも、全国各地から届く「はるかのひまわりが咲いたよ!」「はるかのひまわりを咲かせたいんでタネを送ってください」という電話やお手紙をいただくと、不思議と元気になれるんです。

一粒のタネがくれる「元気と希望」大切にしたいですね。

みなさんからの「はるかのひまわり報告」お待ちしております!

井上隆文



皇居にも「はるかのひまわり」が咲きました!!

7月25日午後、宮内庁からHANDS会員の小西理奈さん(11才)に「皇居ではるかのひまわりが咲きました。」と電話が入りました。今年の1月17日、兵庫県公館で開かれた「阪神・淡路大震災10周年追悼式典」に出席した理奈さんが、天皇・皇后両陛下に「はるかのひまわり」の種をお渡ししたところ、皇后さまから「ありがとう。ひまわりの種、植えさせていただきますね。」というお言葉をいただいていた。お約束どおり、ひまわりの花を咲かせてくださいました。

プーケットは 元気でした!!



7月中旬、タイ政府観光庁の招請により、井戸知事はじめ大阪府・京都府の代表者とともに、タイ・プーケット島を訪問しました。インド洋大津波から7ヶ月経った今、プーケット島は何事もなかったかのように美しく穏かであり、大勢の観光客で賑わっているように見えました。しかし年間100万人も訪れていた日本人観光客は、二割も戻っていないとのこと。そのため、多くの失業者が出ているようです。普段気がつきませんが、私たちの生活は多くの人々とむすび、つながっていることをあらためて実感しました。引き続き、津波で被害に合われた方々の支援活動をみんなでやっていきましょう。

井上隆文 (HANDS監事)

みんなで描いた!!「ひまわりの絵」

7月16日(土)神戸市東灘区の山手幹線水道橋から住吉川東岸沿いに咲いた「ひまわり」を(子どもたちが中心でしたが)約40名で描きました。神戸市教育委員会の後援、岡本交友会・岡本商店街・サンフラワーフレンズ21・本山第二小学校のご協力を得て、梅雨明けを思わせる太陽の下開催しました。

このひまわりは震災を風化させないように、当時の気持ちを忘れないようにとの思いを込め、5月8日に「はるかひまわり」の種を蒔いたものです。地元の方々とともに、水遣りや雑草抜きなどを行い、こんなに元気なひまわりの花が咲きました。

当日は、ひとりで3枚の絵を描いた子どもをはじめ、みなさん絵の具や色鉛筆などで気に入ったひまわりの絵を描いていました。ひまわりの種まきにも参加した男の子は「たくさん花が咲いてよかった。元気なひまわりの絵がかけました。」と話してくれました。



阿久沢悦子さん(朝日新聞社)



小4と小2。二人の息子たちと、昨年「はるかひまわり」の種まきや写生会、震災モニュメントウォークに、参加している。6千人あまりが亡くなったあの瞬間、私は神戸市内に住み、長男がお腹の中に居た。以来、出産のために一時、京都に疎開したほかは、ずっと神戸住まい。でも、正直言って、これまで特段、自分の子どもに震災のことを伝える努力をしてこなかった。一つにはビビっていたのだ。96年1月17日、辻々に置かれた花と線香の香りで、自分たちが今住んでいる足元には、たくさんの死者が眠っているという事実で改めて気づいた。軽々には語れない気がした。

そんな子どもも、もう10歳。震災のことを伝えなくちゃ……と考え始めた時、ちょうど、そこにHANDSの「はるかひまわり」と「震災ウォーク」があった。「一緒に参加しよう!」と勢い込んで誘ったが、敵(?)もさる者。就学前にハンセン病療養所やピースウォークに連れ歩いた時のようには、容易にはついてこない。「一人で行ってればー。お母さんの仕事でしょ」と冷たかった。でも、一度、行ってみれば子どもの参加者も多く、堀内さんはじめ、大人たちが構ってくれるので、居心地がいいのがわかったみたい。私たち両親が話せることは、自分たちの小さな体験だけ。ひまわりやモニュメントを通して、親以外の人の体験を聞く中で、ゆっくり、震災とは何だったか、を理解してくれればいい。

長男は「はるかひまわり」の種を分けてもらい、学校で友達に配った。子どもから子どもに、「加藤はるか」ちゃんの名が広がり続けていく。そして地域の小学生の家の庭で花を咲かす。10年がたったからと言って喪失の悲しみは消えるものではないけれど、その悲しみを分けて持つ「仲間」を、震災後生まれにも作っていきたいと思う。

門口公園にひまわりが咲きました!!

兵庫区の門口公園は、震災で被災された方々がテント生活をした場所です。この地域のみんで助け合った経過を忘れまいと、伊原成美会長をはじめ門口町自治会のみなさんとHANDSメンバーとで、5月にひまわりの種をまきました。そして7月末には、大輪の花を咲かせ、公園の一角にひまわり畑が登場しました。

「このひまわりを通じて、震災を語り継ぎ、地域のつながりをより深めています。」と、松浦理事長。



門口町自治会のみなさん



井上利丸さん (NHK大阪局)

今回の交流ウォークのスタートは甲南山手駅。いわば地元です。そこから西へモニュメントをめくりながら住吉川の「はるかのひまわり」を見て、最後に本山第2小学校で交流会。いわば例年の「ひまわりウォーク」との合体でした。1年ぶりの「はるかのひまわり」。雨が少なかったため背が低いかなど、ひまわりの種を蒔き続けてこられた藤野さんが心配されていましたが、いえいえ、毎年のように元気なひまわり達でした!

わたしが「はるかのひまわり」を見たのは震災から何年目だったか……。少なくとも甲南山手から山手幹線沿い、一直線の道に咲き誇った元気なひまわり。今でも目に焼き付いています。

私にとって「はるかのひまわり」は、全壊した家をまだ再建できないまま、マスコミという仕事をし、一方転勤をくりかえす、職場には震災に十分理解ある仲間ばかりではない……。そんな中で勇気を与えてくれた大切な花～いや花を越えたくなにものか>です。しかし、その「ひまわり」に多くの人々がかかわり汗して植え続けていたことは、当時はよく知らずにいました。

2003年、3年ぶりに東京での単身赴任から関西へもどった夏。私は待望の、ひまわりウォーク(第2回)に参加し加藤いつかさん達とお会いしました。ひまわりに込められた物語を多くの方から直接お聞きする機会を得ます。同じ職場のプロデューサーたちが特集企画を立てて2004年9月に放送。その番組をもとに今年の夏「はるかのひまわり物語」という本になりました。HANDSの皆さんに多大なご協力をしていただきました。私にとって、こういった番組や出版は仕事である以前にもう一つの「ひまわりの種」だと思っています。毎回のウォークには、わたし自身の気持ちではマスコミ人である以前に、一住民として参加しています。そしてこれからもモニュメントを訪ね多くの方々の思いを共有し、また「ひまわり」に勇気もらって、自分の出来ることをやっといこうと……。

「まだ、震災?」と言う声も残念ながら職場にあります。その度に<まだも、もうもないやろ!>とぐっと唇をかみしめつつ。

(写真中央、井上さん)



「第31回震災モニュメント交流ウォーク」報告

-東灘区を訪ねて- 平成17年7月17日(日) 晴れ

7月17日(日) 東灘区のJR甲南山手駅から出発。森南町(桜子ちゃんの観音さん)～森公園(慰霊碑)～中野北公園(慰霊碑)～中之町公園(慰霊碑)～住吉川沿い(はるかひまわり)～神戸市立本山第二小学校(震災資料室・昼食・交流会)を訪ねました。5月に種を蒔き、この日「はるかひまわり」を眺め、語り合いながら歩きました。参加者は子どもさんから高齢の方まで56名もありました。



訪れた震災モニュメントでは、建立者の方から、モニュメントに込めた語り継ぐことの大切さ、いのちの大切さをお話していただきました。また地域のみなさんと一緒に育てた住吉川沿いの「はるかひまわり」の前では、雨が少なかった時の水やりの苦労話などを伺いました。

神戸市立本山第二小学校の教室をお借りして行った交流会では、震災後の生活やみんなで助け合ったこと、地域で行っているモニュメントを中心にした活動などを語り合いました。

遠くは埼玉県や東京都からの参加者もあり、「暑かったけれど地域の方々の生の声が聞いて良かった。次回はどこに行くのか楽しみに待っています。」とってくださいました。



桜子ちゃんの祖父、加賀幸夫さん



◆◆◆今回訪れたモニュメント◆◆◆



台風23号被災地お見舞い品贈呈式の報告

梅雨明けの7月21日、予想最高気温35度炎暑の豊岡へ、堀内代表、加藤いつかさん、坂田さんと小生4名で遅れ馳せながら、豊岡の足立さんご夫婦と現地で合流、台風23号のお見舞い品の贈呈式に出掛ました。

今年1月17日小雨降る「阪神淡路大震災1.17のつどい」に東遊園地を訪れ、台風23号被災地のみなさんに寄せられた多くの方々からの善意の募金を、被災地の皆様方が心から喜んで頂ける有効な利用方法はないかと、豊岡在住の足立さんご夫婦を中心に被災地のみなさんと協議した結果、五荘公民館には金屏風、三江公民館には大型物置と座布団28枚、新田公民館には大型物置と玉いれ籠、夫々希望通りの品々を本日寄贈することが出来ました。

夫々の公民館では買いたくても予算の都合上、買えなかった品物だけに、館長さん始め役員のみなさん方が心から喜んで下さった光景を見て、贈った我々も、多くの方々

の善意が実ったことに、感慨を新たに致しました。

近々、この金屏風を前にして4組の金婚ご夫婦をお迎えして表彰式が執り行える事を嬉しそうに、お話を下さった宮垣義巳五荘公民館長、物置を少し高いところに置いた為に、隣接の学校にも雪解け水が流れないように配慮して設置したと、お話を下さった中貝正己三江公民館長さん、運動会の玉いれ風景を楽しそうに語られ被災時期の様子を丁寧に話下さった永川進新田公民館長さん。

強行日程のため各公民館では少ない時間の滞在でしたが、みなさんと語り合えた事がご縁でこれからも交流が深まればとの思いで帰神しました。

大下幸夫 (HANDS 理事)

追伸

各公民館からご丁寧な感謝状を拝領しましたことを付け加えておきます。

■■■五荘公民館■■■



■■■新田公民館■■■



■■■三江公民館■■■



「災害・事件・事故に遭われた方々の相談」 対応勉強会を開催しました

HANDSでは、「災害・事件・事故などに遭われた方々の相談窓口」の設置にあわせて、電話対応をしているメンバー12名で、相談対応の講習を7月9日に受けました。会場は兵庫県こころのケアセンター。講師はこころのケアセンター研究部長の加藤寛氏が、お忙しい中快くお引き受けくださいました。「トラウマとこころのケア」のテーマでの午後5時から2時間の講習は、今までの事例を交えた講習と質問にも丁寧に答えてくださり、今後の電話対応に大変有意義な講習となりました。

こころのケアセンターで講習を受けて 下村誠治 HANDS副理事長からの報告

HANDSでは、4月25日のJR福知山線脱線事故を受け、支援の一環として相談窓口を設置しました。すでにご遺族からの電話も受けており、私個人宛にも10数人のご遺族から電話をいただきました。電話対応をする中で、個々によってその内容も様々で、中にはどう対応したら良いのか窮するものや、私自身のことと重なりしんどい思いをしたこともあります。

今後JR事故のご遺族をはじめ様々な事件、事故のご遺族と接する機会も多くなると思います。相手の気持ちをしっかり受け止め理解しなければ、よりよい関係を築くことはできません。相手の心理状況を勉強することと、受け手である私たちが受ける影響についても自分自身把握しておく必要があります。講習の中で

もふれられましたが、特定の人に対応が集中することがないような体制を作ることにも必要で、また受け手の負担をフォローするまわりのサポートは不可欠です。私自身も今ではHANDSの皆様、他事件、事故のご遺族の支えにより前向きになることができましたが、事故直後は深い悲しみ、孤立感に支配され同じ思いを共有できるとは考えもしなかったし、当事者に対する怒りでいっぱいでした。事件、事故には様々な背景があります。なにげない一言で傷ついたり、落ち込んだりします。

今後も今回のような講習を定期的に関き、また「こころのケアセンター」と連携も深めて私たち自身がしっかり対応できるようにしていきたいと思ひます。

ご支援ありがとうございました

事故からまもなく4年を迎える6月28日、神戸地裁において民事裁判の判決が言い渡されました。判決は明石市・警察・警備会社三者にたいして、その責任を厳しく断罪したものであり、雑踏警備において警察の過失責任が初めて認定され、また大規模事故においてPTSDが損害として初めて認定されました。私たち遺族の主張がほぼ全面的に認められた内容で、7月12日三者が控訴を断念し判決が確定しました。私たちにとって裁判は苦しい、つらい場ではありましたが、HANDSの皆様はじめ多くの方々の励まし、ご支援があってこの判決を勝ち取ることができました。心より感謝申し上げます。これから私たちにできることは、二度とこのような事故を起こさないよう真の再発防止策を確立するよう活動し続けること、命の大切さを訴え続けることだと思ひています。今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

下村誠治 明石花火大会歩道橋遺族 原告団長

HANDSご入会について

私たちの活動にご参画いただける方は正会員に、HANDSの活動にご賛同していただける方は賛助会員として、お申込いただければ幸いです。みなさまのご入会をお待ちしています

ご入会方法

下記の郵便振替口座に、正会員又は賛助会員、おなまえ・ご住所・電話番号をお記入の上、年会費をそえてお申送ください。会報、活動・イベントのお知らせを送らせていただきます。年会費は、ご入会から1年間有効です。

年会費

	個人	企業・団体
正 会 員	1口 10,000円	***
賛 助 会 員	1口 1,000円	※1口 10,000円

※企業のみなさまには、3口以上のご協力をお願いいたします。会報・イベント等で貴社のお名前を掲載させていただきます。

郵便振替口座名 「希望の灯り」 口座番号 01120-7-70117

正会員134名 賛助会員1,233名 (平成17年7月31日現在)

ご入会・更新又はご寄付いただいた会員の方々

平成17年5月31日～7月31日まで

正会員

竹下 弘二
中島 喜一
■5月
なし
■6月
白木 利周
多賀谷 誠

賛助会員

■5月
金井恒幸
松木 良江
■6月
阿久沢 悦子

羽 健二
磯辺 康子
川瀬 喬
佐野 欣子
常深 充良
藪野 秀夫
藤原 洋次郎

湯口 隼人
■7月
阪口 尚子
佐野 恵美子
豊永 清
橋本 弥栄
林 芳朗

米津 勝之
米津 好子
津田 昌則
西村 あけみ

団体・企業賛助会員

■5月
門口自治会
■6月
株式会社 PHP研究所
■7月
元栄海4丁目新和会
元栄海4丁目町内会

ご寄付いただいた方々および団体

■5月
中里恭枝

■6月
小松原 勇次郎
辺見 康代

■7月
増谷 玲子
畑中 律子

平井 隆史
平井 紀江
大慈保育園

*敬称は略させていただきます

*ご不審な点がございましたらいつでもお問い合わせください

応援ありがとう!!

石光商事㈱	ひまわりウエーブ事務局	(財)阪神・淡路大震災記念協会	がんばろう世田谷
エスケー食品㈱	フェニックス・ひのくち	㈱アロエベラエンタープライズ	㈱マイスター大学堂
(株)エフエルエス	カンサイタバコショップ	21世紀歯科医師ボランティアグループ	UNN関西学生報道連盟
(有)エムエフケイ	神戸看護福祉研修学院	特別養護老人ホームヘルシーピラ加美	元栄海4丁目親和会
㈱岡田金属工業所	㈱神戸ニュータウン開発センター	㈱ビューティ・ヘルシーアンドゴールト 株式会社	元栄海4丁目町内会
川西銭太鼓幸の会	ダイハツサービスOB会	三宮センター街1丁目商店街振興組合	あかね工房
神戸Town Wedding	こころ鍼灸整骨院	三宮センター街2丁目商店街振興組合	川西倉庫OB会三勤会
㈱どりむ社	兵庫県児童養護連絡協議会	三宮センター街三丁目商店街振興組合	㈱ディ・オー
DBサービス	社会福祉法人 絆福祉会	三宮センター街東通商店街共同組合	繁栄自治会
㈱日興商会	社会福祉法人 千種会	大阪ガス㈱“小さな灯”運動事務局	北斗会
(財)兵庫県薬剤師会	社会福祉法人 六甲福祉会	のじぎく大会実行委員会事務局	カフェ ひげおやじ
㈱プロファクトリー	金光教(岬教会・大開教会・長	のじぎく兵庫国体実行委員会有志	江戸川ミニポンプ(株)
㈱ベイエリア	田協会・兵庫教会・葺合教会・福	元町1番街商店街振興組合	坂本自動車工業(株)
吉野建設㈱	原教会・山手教会・駒ヶ林教会・	元町3丁目商店街振興組合	神戸市保育園連盟
㈱アート・ファーマー	布引教会・桜口教会・西近畿教	元町4丁目商店街振興組合	神戸市職員労働組合
(NPO法人)風の子たき	務センター・金光教神戸市教	元町5丁目商店街振興組合	神戸交通労働組合
モリモトマサ硝子	会連合会収集活動グループ)	元町6丁目商店街振興組合	神戸市道路公社
(有)高嶋機工	(社)大阪ボランティア協会	(NPO法人)KOBE観光ガイドボランティア	神戸市秘書室
ダイハツ40会	横浜雙葉学園アンナ会	(NPO法人)子供地球基金	
神戸武夷登山会	㈱PHP研究所	(NPO法人)西すず安心センター	
門口自治会	大慈保育園	つくみ保育園	

第32回 震災モニュメント交流ウォークのお知らせ

-中央区南を訪ねて-

平成17年10月2日(日)

午前9時30分受付開始 10時出発 東遊園地「1.17希望の灯り」前集合

参加無料! お申込み不要! 雨天でも決行します!!

- *コースは都合により変更することがございます。ご了承ください。
- *昼食は元町商店会で各自おとりください。
- *飲み物は、ご持参下さい。

コース

- 「慰霊と復興のモニュメント」「トレリス断層」他(東遊園地)
東遊園地には、多くのモニュメントが建立されています。
 - 「神戸震災復興記念公園(仮称)」(浜辺通・JR貨物神戸港跡地)
震災での経験を語り継ぐ公園を計画中です。
 - 被災した「橋脚」(新港町17)
鉄筋がむきだした橋脚が、地震の大きさを物語っています。
 - 「震災メモリアルパーク」(メリケン波止場)
震災のつめ跡をそのまま残し、後世に伝える岸壁。
 - 「メッセージ入りれんが」(神戸元町商店街)
被災者を励ます全国からのメッセージが書かれたれんが。
 - 「煉瓦倉庫の一部・鎮魂のうた」(海岸通・エレガート神戸)
今年新たに建立されました。激震に耐えた煉瓦倉庫。
建立された神明倉庫株式会社の方にお話を伺います。
- ★昼食 神戸元町商店街で各自おとりください
★交流会会場(午後2時から4時予定)
こうべまちづくり会館 2階ホール(飲食はできません)
神戸市中央区元町通4-2-14 TEL 078-361-4523



慰霊と復興のモニュメント



トレリス断層



被災した「橋脚」



煉瓦倉庫の一部
鎮魂のうた



震災メモリアルパーク

交流会会場



第4回「おやじの会」開催のお知らせ

災害・事件・事故などで、ご家族・知人・友人を亡くされた「おやじ(若者を含む)」のみなさんにお集まりいただき、誰はばかることなく、心の奥深くにしまいこんだ想いを語り合う「おやじの会」を開きます。人前では涙を流せない方、すぐ涙をながす方、みんなで大いに涙を流して語り合ひましょう。参加資格は「男性」。年齢制限はございません。みなさんからの申し込みをお待ちしております。「おやじの会」発起人 足立悦夫

日 時: 10月2日(日) 17時30分~19時30分
場 所: 楽園(南京町中央広場南隣り)(予定)
神戸市中央区栄町通2丁目8-15 TEL078-332-0169
会 費: 5,000円(会費は当日ご持参ください)
お申込: FAXで9月20日まで
お申込・お問合せ: HANDS TEL078-595-2800

特定非営利活動法人

阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」

〒651-1131神戸市北区北五葉1-13-1

レ・アールビル3F

TEL: 078-595-2800 FAX: 078-595-2801

E-mail: kibou@family.plala.or.jp

URL <http://www1.plala.or.jp/monument/>

会費・ご寄付は下記までお願いします

郵便振替口座: 口座名「希望の灯り」

番号01120-7-70117